

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況(高速道路)

8/15 06:00時点

【道路復旧状況(高速道路)】

- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約121kmを規制解除し、約14kmにおいて救急車や給水車などの緊急車両の通行を確保
- ・8月11日9時に九州道 八代ICから坂本PA間で緊急車両の通行を確保し、これにより九州道全線で緊急車両が通行可
- ・8月14日6時に、一部対面通行(川田橋付近)となるが九州道全線(松橋ICからえびのIC)で一般車両も通行可(九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保)
- ・8月後半までに、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行可能予定(南九州道による八代へのアクセスルートが確保)
- ・九州道と南九州道を連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から開始

○南九州道 妙見第一橋④⑤ 段差大

<被災状況>



<航空写真>



7/30 9:04~
一般車両通行可

7/31 18:50~
緊急車両通行可

8/14 6:00~
一般車両通行可
(一部対面通行あり)

<一般車通行状況(宮原SA付近)>



<対面通行>



8/9 9:00~
緊急車両通行可
※一部対面通行あり

8/11 9:00~
緊急車両通行可

九州道 川田橋 下り線を活用した対面通行

<応急復旧後>



下り線) 対面通行
上り線) 復旧工事中

8/1 15:00~
緊急車両通行可

7/30
15:00~
緊急車両通行可

8月後半
一般車両通行可(予定)

7/29
14:00~
緊急車両通行可

南九州道(日奈久IC~田浦IC)は国土交通省管理

至)えびのIC

至)えびのIC

8/15(土)時点

- 国道3号ピーク時所要時間推移(松橋IC～八代市内)



令和8年熊本地震による被災状況（道路）

・道路の被害状況等（通行止め）

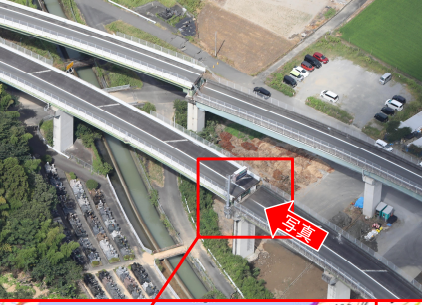
	7/28_21:00	7/29_14:00	8/13_06:00	8/14_06:00	8/15_06:00
高速道路	2路線7区間 ※点検中	3路線17区間 (約142km) ※うち8区間が 緊急車両通行可 (約73km)	2路線9区間 (約100km) ※うち8区間が 緊急車両通行可 (約93km)	1路線3区間 (約21km) ※うち2区間が 緊急車両通行可 (約14km)	1路線3区間 (約21km) ※うち2区間が 緊急車両通行可 (約14km)
直轄国道	1路線1区間 ※点検中	全解除	-	-	-
補助国道	1県1区間 ※点検中	1県3区間 ※熊本県点検中	1県2区間 ※緊急車両通行可	1県2区間 ※緊急車両通行可	1県1区間 ※緊急車両通行可
都道府県 道等	3県9区間 ※点検中	3県15区間 ※熊本県点検中	2県4区間	2県4区間	2県4区間

【道路復旧状況】

- 地震発生後、翌朝には被災地への主要アクセスとなる国道3号及び国道57号のアクセスを確保
- 高速道路については、
 - ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約121kmを規制解除し、約14kmにおいて救急車や給水車などの緊急車両の通行を確保
 - ・8月11日9時に九州道 八代ICから坂本PA間で緊急車両の通行を確保し、これにより九州道全線で緊急車両が通行可能
 - ・8月14日6時には、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で一般車両も通行可（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
 - ・8月後半までに、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行可能予定（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
 - ・九州道と南九州道をつなぐ八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
 - ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から開始
- 7月29日から災害派遣従事車両を対象として高速無料措置を実施
- 九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- 国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の路面修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- 並行する県道338号の横江大橋については 8月中旬頃、国道219号の新萩原橋については 8月下旬に一般車両の通行可能となる予定
- 【自治体支援】
- トイレ環境確保のため道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に8月6日までに15台派遣。さらに8台の派遣を準備



通行止め箇所（妙見第一橋 橋梁損傷）
E3A南九州自動車道
（八代JCT～八代南IC間）



8月後半
一般車両
通行可
（予定）

7/30 15:00～
緊急車両通行可

7/30 10:30
規制解除済

※写真は主な被災箇所

- 【凡例】
- 通行止め区間：[Red X symbol]
- 通行止め区間（緊急車両通行可）：[Red X symbol with orange line]
- 完了：[Grey line]
- 国道3号、国道57号（直轄国道）：[Blue line]
- 主な被災箇所：[Red X symbol]

《防災用コンテナ型トイレの派遣》



- 電力、通信、上下水道、鉄道について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請なし（ホトライン構築済み、災害時の連携を確認済み）
- 緊急車両とは、緊急自動車（赤色回転灯付の車両）又は災害派遣等従事車両証明書を持参した車両など（給水車両、タンクローリーについては災害派遣等従事車両証明書を持参してなくても通行可能）

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況

8/15 6:00時点

- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約121kmを規制解除し、約14kmにおいて救急車や給水車などの緊急車両の通行を確保
- ・8月11日9時に九州道 八代ICから坂本PA間で緊急車両の通行を確保し、これにより九州道全線で緊急車両が通行可能
- ・8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で一般車両も通行可能（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- ・8月後半までに、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行可能予定（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- ・九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- ・国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の路面修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- ・並行する県道338号の横江大橋については 8月中旬頃、国道219号の新萩原橋については 8月下旬に一般車両の通行可能となる予定



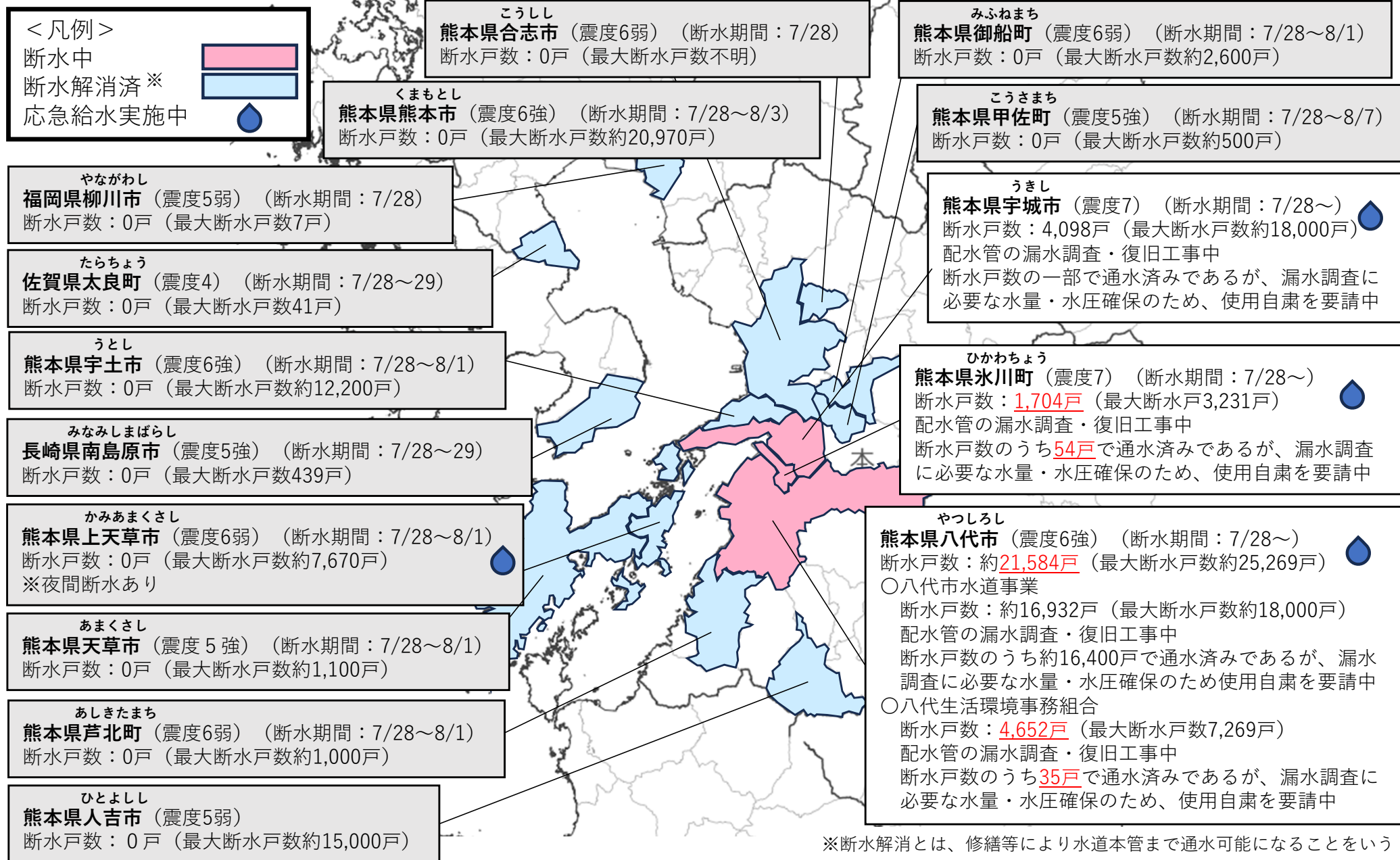
至)えびのIC

令和8年熊本地震による鉄道の被害状況等について



【令和8年熊本地震】水道施設の被害状況等について

- 4 県（15 自治体）において断水が発生（最大断水戸数約108,100戸）
- 熊本県の3自治体において約27,400戸が断水中、そのうち約16,500戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）
- 全国の自治体及び工事業者により応急復旧を支援中（68班、約270人※） ※現場状況により班人数が変動するため人数は概略値



※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう

【令和8年熊本地震】 応急給水等の状況

国土交通省
令和8年8月15日
7:30時点

- 熊本県内の3自治体において、現在約27,400戸が断水中（最大断水戸数は、4県（15自治体）において約108,100戸）。
- 国土交通省、日本水道協会、自衛隊において、全国からプッシュ型で支援するよう、給水車を確保。現在給水車147台で支援中。
- 給水ニーズを踏まえた給水箇所の拡充、避難所・医療機関への優先の徹底などのため、関係機関と連携し、現地応急給水支援本部を設置。
- 避難所・医療機関に加え、福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。
- 引き続き、自衛隊の協力や、巡視船、水資源機構の可搬式浄水装置等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
- 今後も猛暑日が続く中、給水ニーズを的確に把握し、きめ細やかに応急給水を実施。

＜給水車の派遣状況＞

（単位：台）

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代生活環境事務組合 （八代市と氷川町で構成 される一部事務組合）	28	4	24	0 ※氷川町のみ
宇城市	41	4	33	4
八代市	63	8	54	1
宇土市	12	1	9	2
熊本市	3	1		2
（派遣先調整中）				
計	147	18	120	9

※上記の給水車を活用し、給水所への応急給水に加え、避難所の生活用水（仮設トイレ、シャワー）、医療機関、福祉施設でのニーズに対応

＜応急給水の実施状況＞



可搬式浄水装置（水資源機構）
設置場所：氷川町竜翔センター
処理能力：50m³/日
8月4日より生活用水として給水開始
8月5日より飲料水としても給水開始



8月10日 トイレカーへの充水状況
（氷川町竜北東小学校）

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

市町村	地区	断水解消見込み	市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区	8月末	甲佐町	船津地区	解消
	日奈久地区	解消		南三箇地区	解消
	鏡町・千丁町	8月末		中山地区	解消
	東陽町	解消		津志田地区	解消
	泉町	解消		有安地区の一部	解消
宇城市	松橋地区	解消	氷川町	迫地区・中大野地区・ 本山地区・原田地区・ 桜ヶ丘地区・立神地区	解消
	小川地区	8月末		その他の地区	8月末
	豊野地区	8月末			
	不知火地区の一部	解消			

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る。

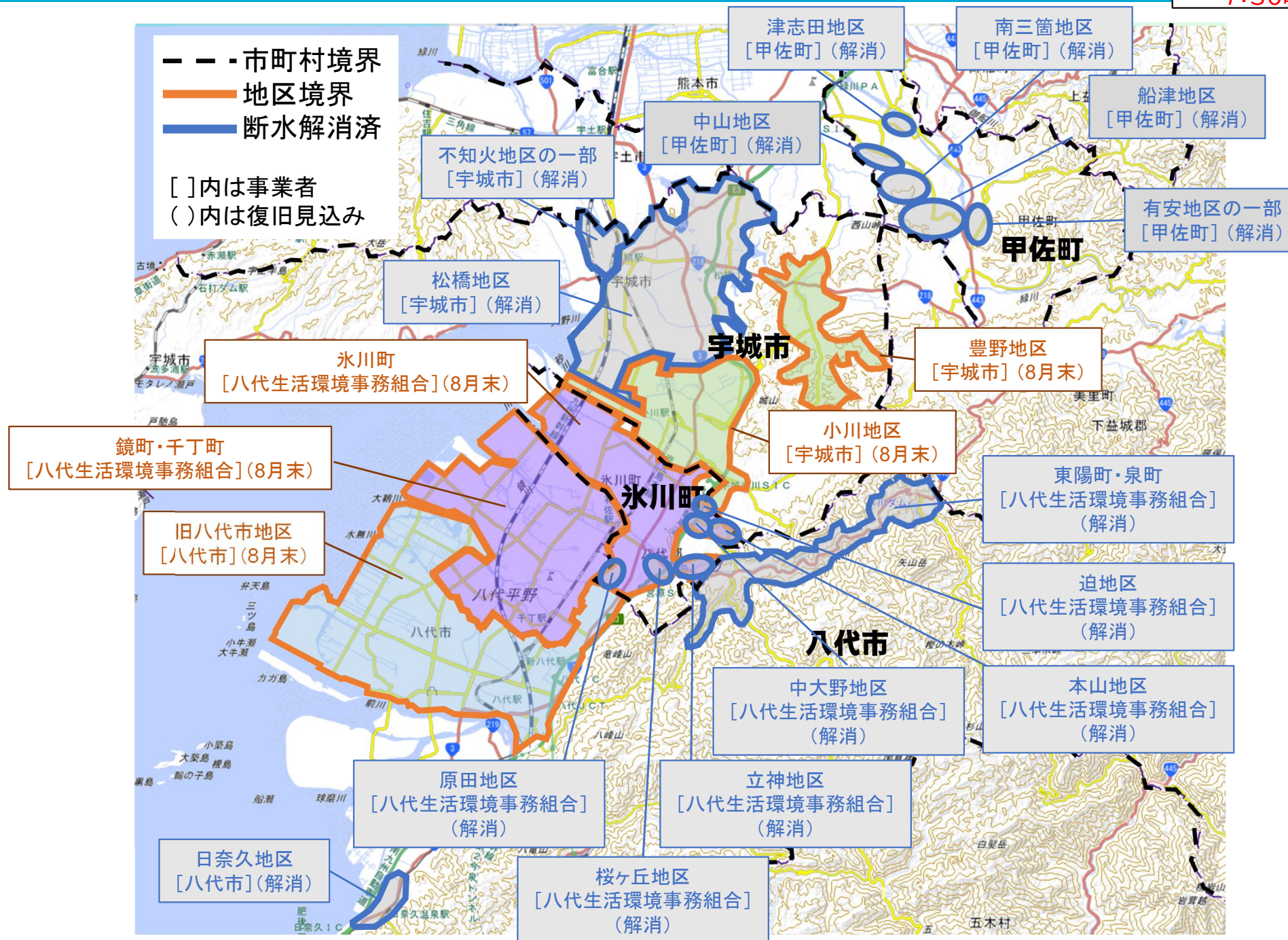
※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう。

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

国土交通省

令和8年8月15日

7:30時点

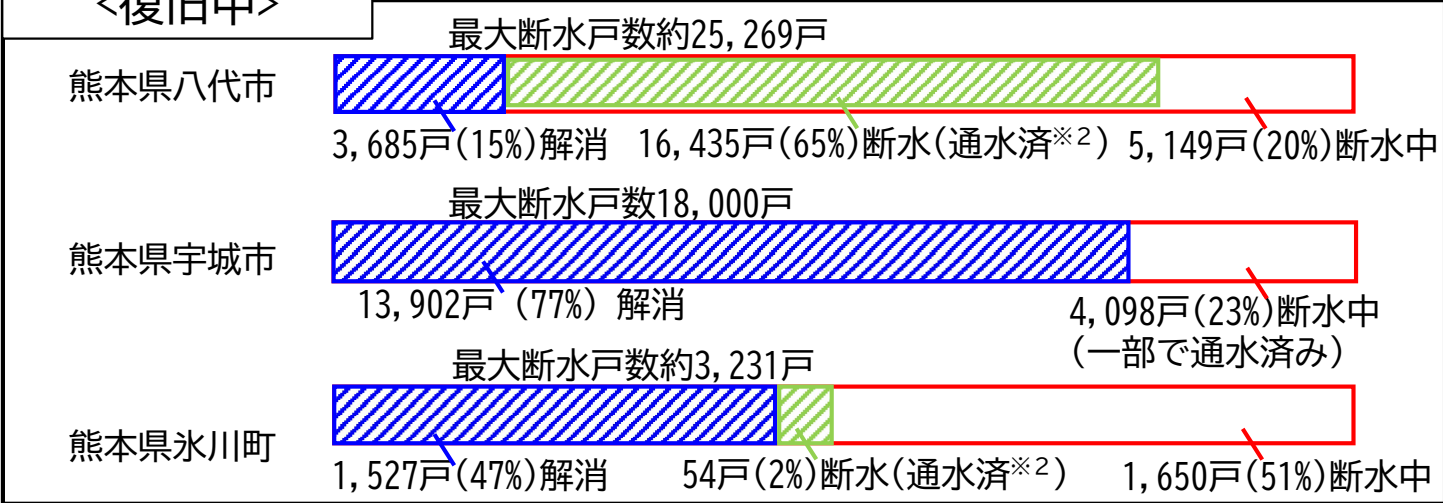


水道施設の復旧状況について

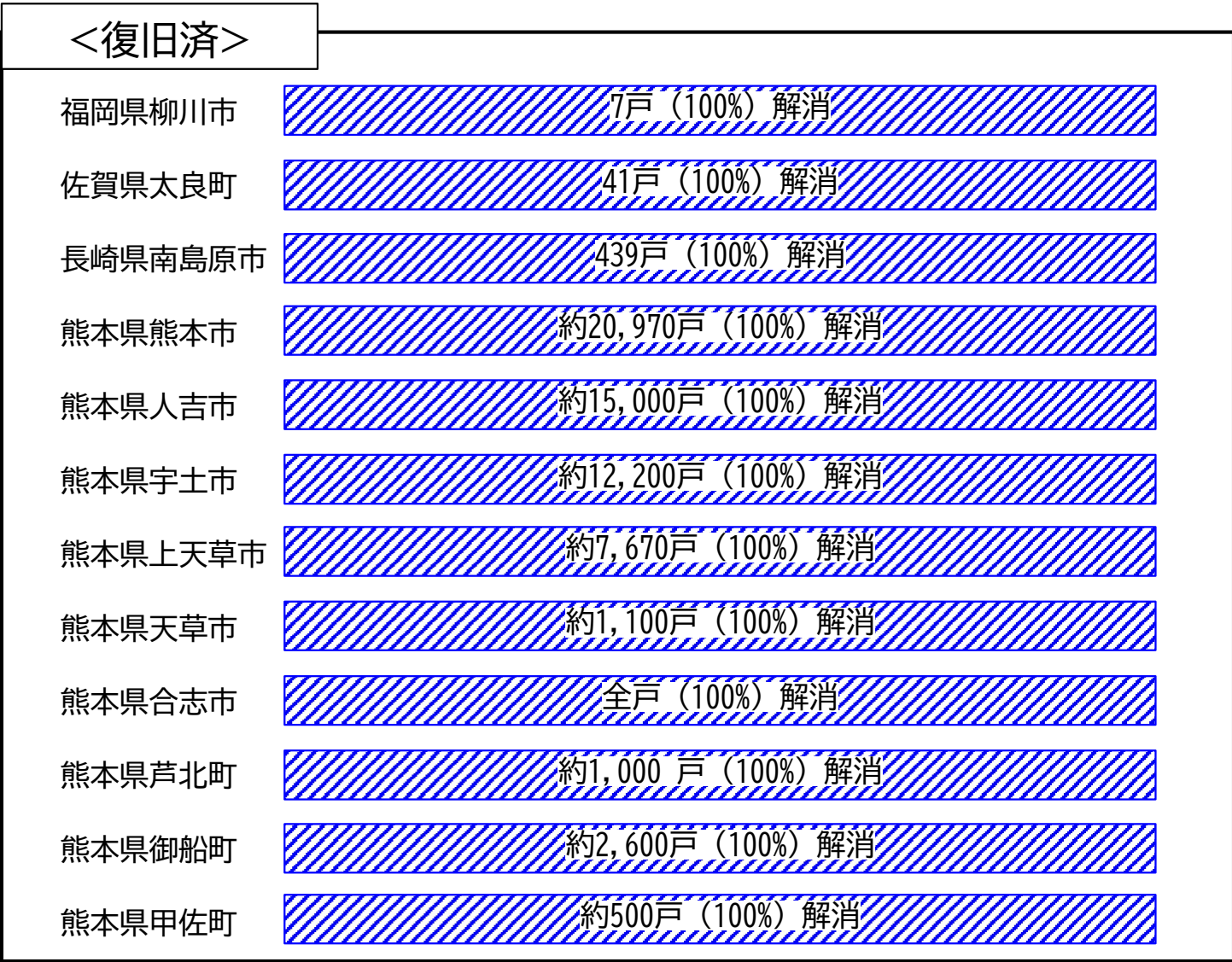
令和8年8月15日
7:30時点

熊本県の3自治体において約27,400戸が断水中、そのうち約16,500戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）

<復旧中>



<復旧済>



<凡例> 断水解消※¹ 断水(通水済※²) 断水中

※1 修繕等により水道本管まで通水可能になること

※2 通水済だが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中